

Genealogies & Etiologies: 'Mokuhanga' in Context

日本の「浮世絵」は、江戸時代の文化や社会を反映する重要な藝術表現です。

浮世絵は、主に木版印刷技術によって作成され、豊かな色彩と繊細な筆触で、人々の日常生活や恋愛、遊興などを題材として描いています。

代表的な作家として、歌川国芳や月岡芳年などが挙げられます。

浮世絵は、現在では貴重な歴史的・文化財として、多くの美術館や博物館で展示されています。

また、浮世絵の技術や美術理論は、現代のアートやデザインにも大きな影響を与えています。

浮世絵は、江戸時代の文化や社会を最もよく反映する藝術表現です。



もくはく—もくはく



165

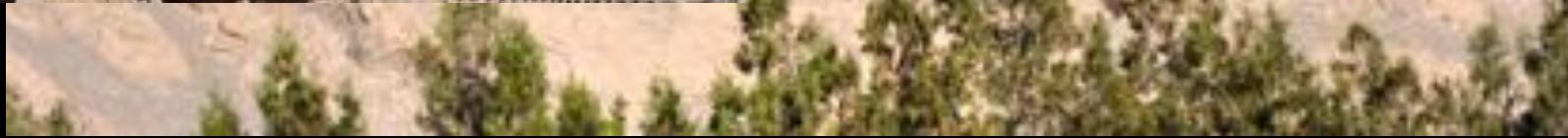
166

167

168

169

Claire Cuccio, PhD
Independent Scholar
Washington, DC



Mogao Caves, Dunhuang



Diamond Sutra 金剛經 (C. *Jingang jing*; J. *Kongō-kyō*), 868
Image courtesy of British Library



Small gift envelopes known as *pochi bukuro*, many still produced in a hand printed format

[image: http://www.sohu.com/a/123707353_556803](http://www.sohu.com/a/123707353_556803)



Samples of everyday items printed at Sato Woodblock Print Workshop, Kyoto



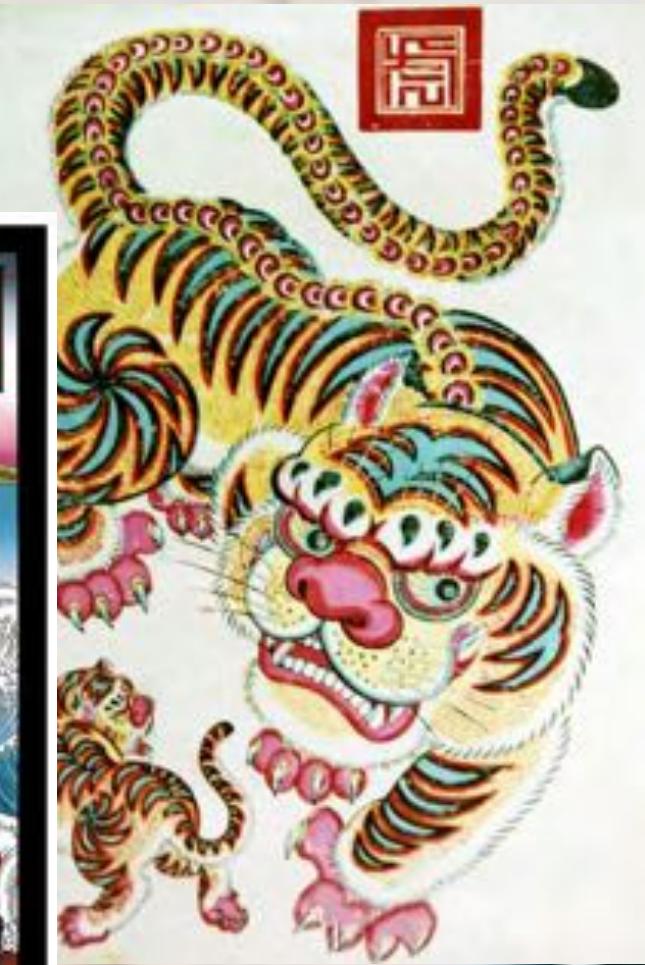
Other woodblock printed objects for ordinary use

image: <http://kyoto.wakasa.jp/detail/26/541/>



Snack box labels as a contemporary design to reinvigorate woodblock use

Image: http://www.sohu.com/a/123707353_556803

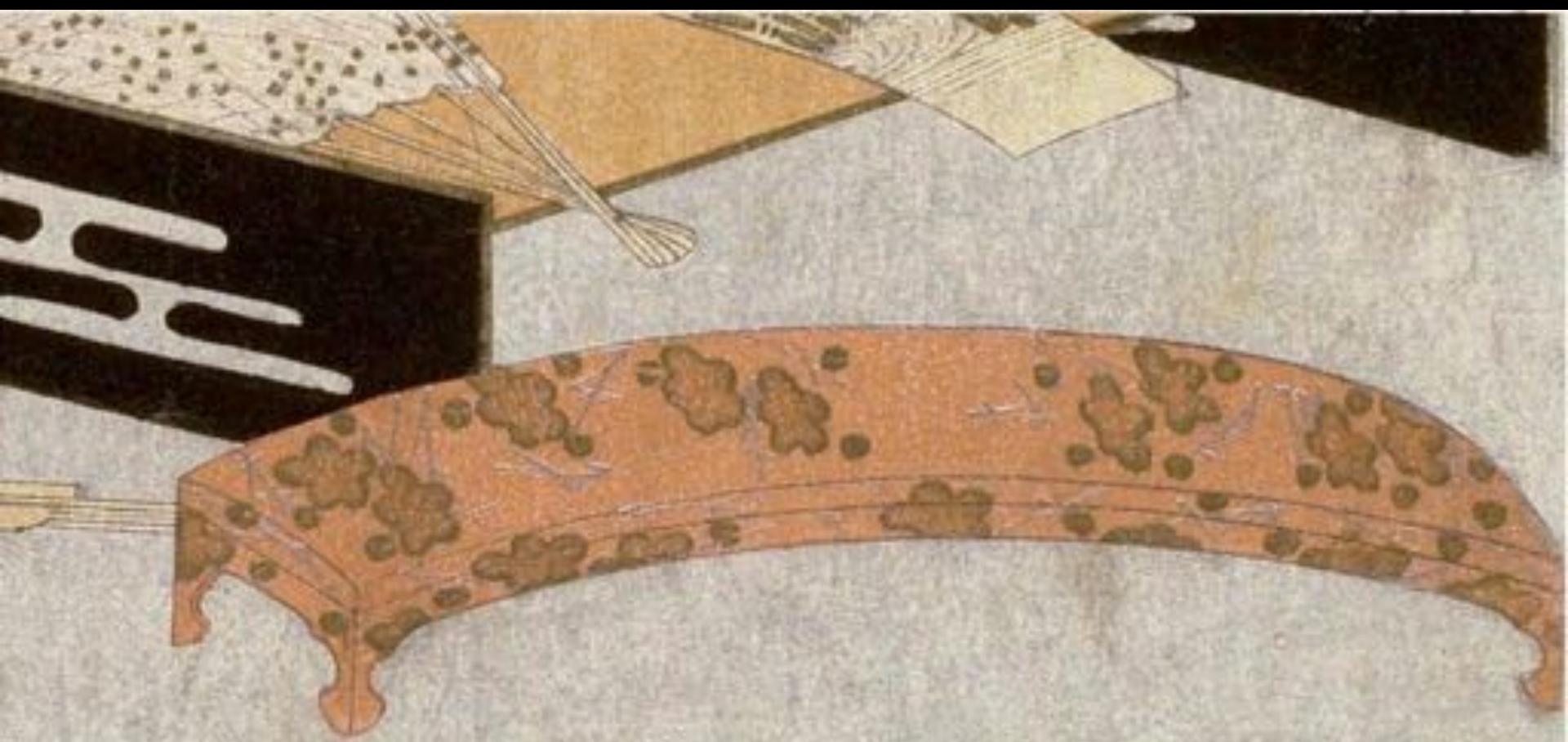


Woodblock printmaking in Asia today encompasses everything from ritualistic images and folk decorations, to graphic and contemporary art.

そもそも浮世絵の「浮世」という言葉は、現代風・当世風といった意味をもった言葉でありすなわち浮世絵とは浮世の様を描いた絵、つまり風俗画のことを指すわけなのです。なお、この浮世絵という名称は後になってから名付けられたものではなく、既に江戸時代初期の寛永18年（1641）の仮名草子「そぞろ物語」や天和
浮世絵・**ukiyo-e**・“pictures of the floating world”
安政18年2月原西鶴の“好色一代男”などに既に見出されましたが、また、この「浮世絵」という名称以外にも明和2年（1765）の鈴木春信から始まつた多色摺りの浮世絵を、錦（にしき）のように美しいということから「錦絵（にしきえ）」と言い、また当時は江戸を意味する東（あづま）という言葉をつけて「東錦絵（あづまにしきえ）」という言い方もしました。

<http://sakigake-one.sakura.ne.jp/kisochis.htm>

摺物 • surimono • “printed thing”



Utagawa HIROSHIGE 歌川広重, Untitled, 1819, featuring exquisite techniques

多色刷りの浮世絵版画。明和2年（1765）絵師鈴木春信を中心に彫り師や摺（すり師）が協力して創始した、錦のよう（精緻）に織成（せいかつ）された“brocade pictures”で美しい版画。浮世絵の代名詞ともなった。江戸絵。東（あづま）錦絵。
<http://dictionary.goo.ne.jp/jn/166820/meaning/m0u/>



Suzuki HARUNOBU 鈴木春信
Courtesan Parading with Attendants, about 1766



Katsukawa SHUNSHO 勝川春章
Actors Ichikawa Komazô III as Gorokichi,
Segawa Kikunojô III, Yamamoto non Osugi and
Iwai Hanshirô IV as Yamakage no Omatsu, 1787





Nishiki weaving and ceramic techniques

Sources: Matcha, <https://matcha-jp.com/tw/971>; Rin no utsuwa, <http://rin-utsuwa.com/satsumayaki/>. 2017.09.12



Utagawa HIROSHIGE 歌川広重
Leaving Edo, Nihonbashi 日本橋
from Fifty-three Stations of the Tōkaidō 東海道五十三次, 1833-34 歌川



Tōshūsai SHARAKU 東洲斎写楽, from the play The Iris Soga of the Bunroku Era (*Hanaayame Bunroku Soga*), 1794
L Segawa Tomasaburō II as Yadogiri, wife of Ogishi Kurando

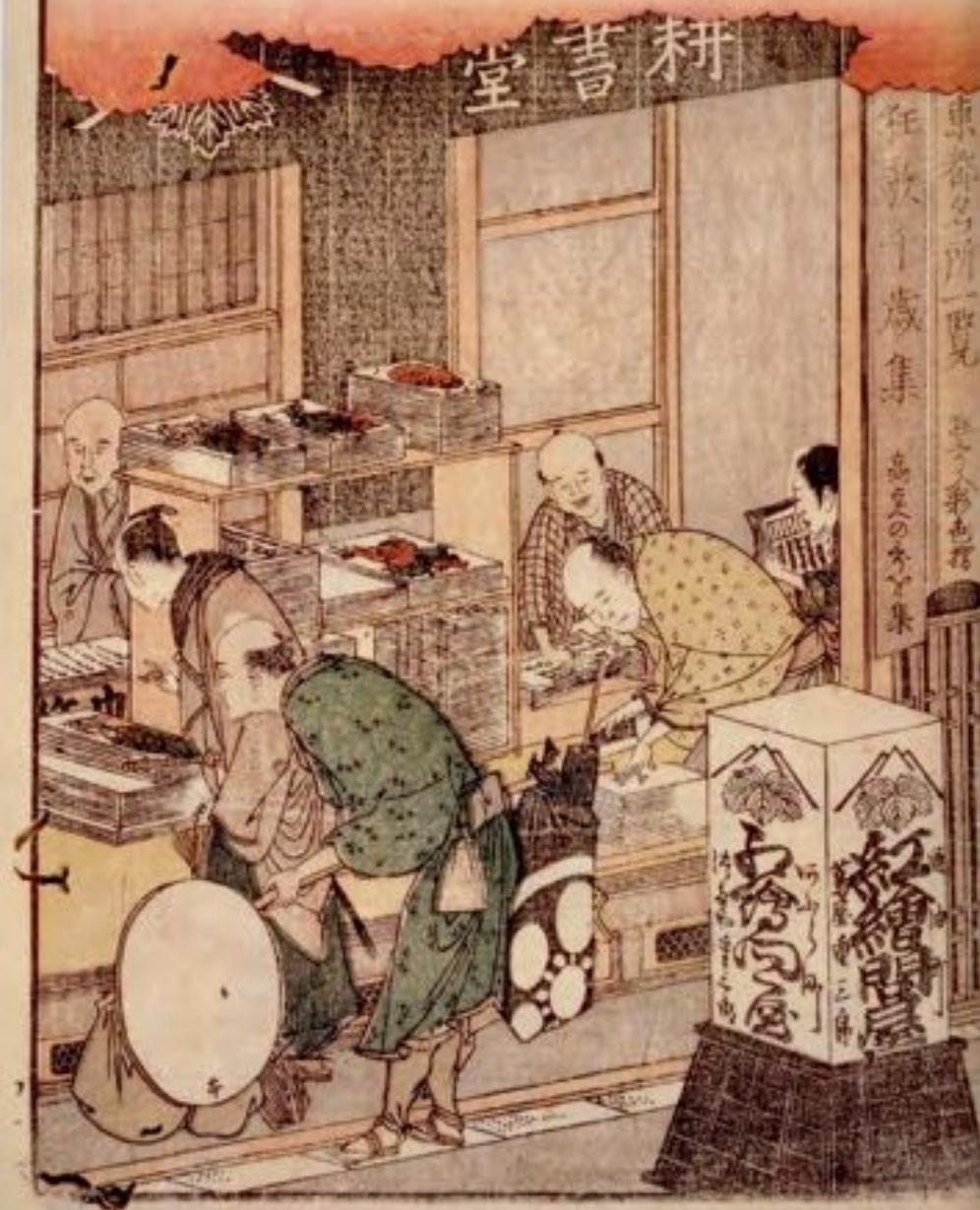


R Sawamura Sojurō III as Ogishi Kurando

繪草紙店

耕書堂

東都名所一覽見
豊原北山作
任秋十歲集
高麗の本と集



耕書堂, an *ezōshiya* or traditional shop selling woodblock printed books, late Edo



A crowd views the latest Russo-Japanese War prints displayed at a late Meiji publisher's shop.
From H.W. Wilson, *Japan's Fight for Freedom*, Part III , 1904



Jugend & Pan, sample magazine covers, Germany, 1890s

Images: <http://thebluelantern.blogspot.com/2010/04/j-r-witzel-jugend-artist.html>

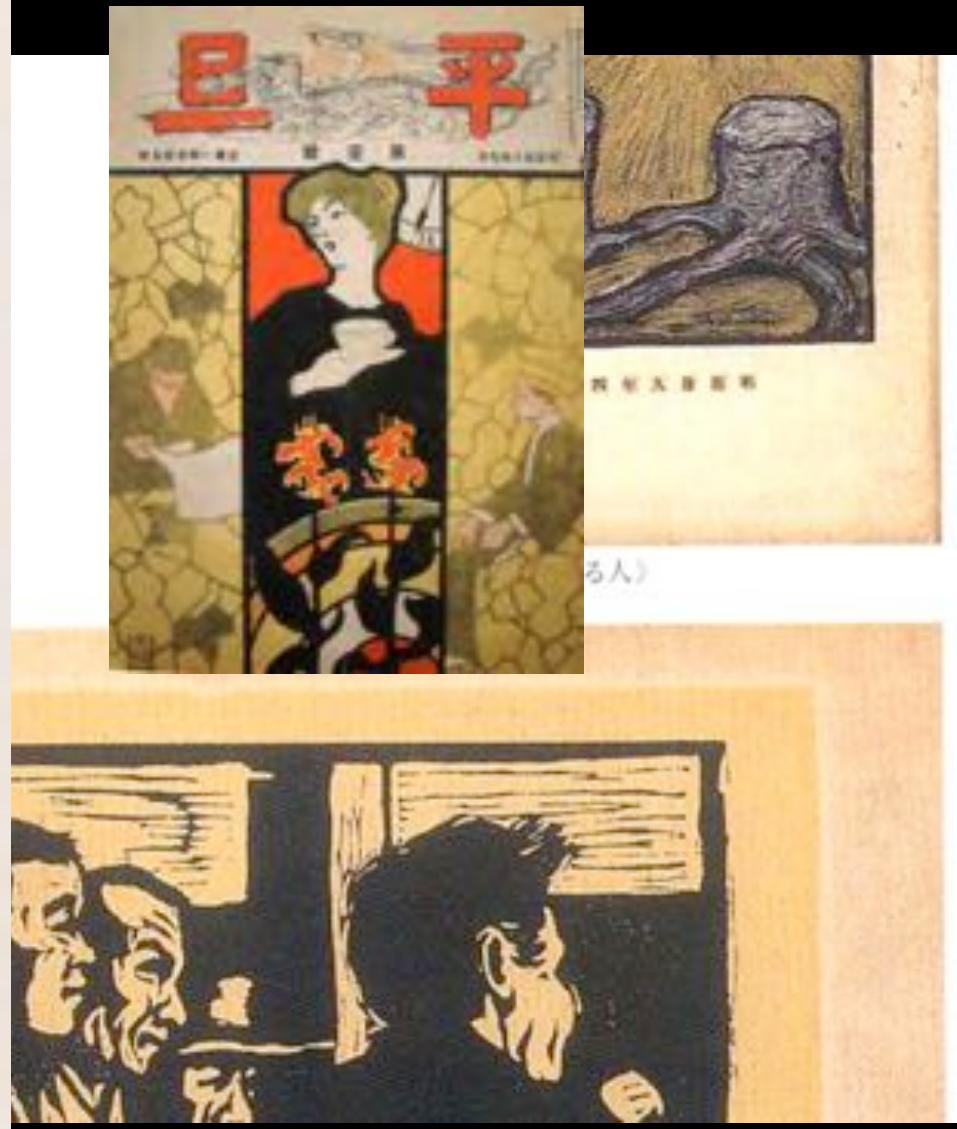
木, 金属, 石などの面に形像を描いて製版し, これにインキや絵具などを塗って紙, 布に印刷したもの(→エンgravinG)。版は普通, 凸出部に顔料を付着するようにして圧着印刷する凸版, 口ひとは反対に凹部に顔料を流し込んで印刷する凹版, もしくは平面に顔料の付着する部分と付着しない部分とをつくって印刷する平版とに大別される。

版画 • print

ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典の解説



L Hôsun 方寸 (Square Inch, 1907-11)
R Heitan 平坦 (Flatness, 1905-06)



木, 金属, 石などの面に形像を描いて製版し, これにインキや絵具などを塗って紙, 布に印刷したもの(→エンgravinG)。版は普通, 凸出部に顔料を付着するようにして圧着印刷する凸版, 口ひとは反対に凹部に顔料を流し込んで印刷する凹版, もしくは平面に顔料の付着する部分と付着しない部分とをつくって印刷する平版とに大別される。

版画 • print

ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典の解説

絵画

油画

水彩画

水墨画

版画

日本画

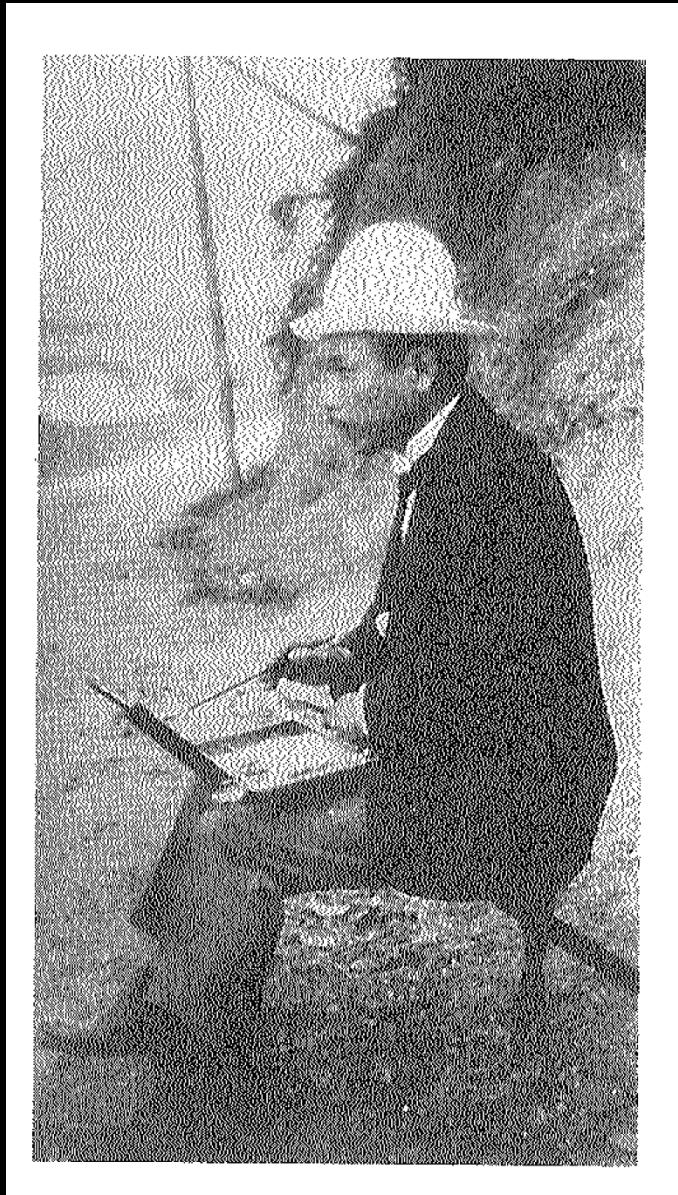


Sample covers overs from *Mōyō* 『明星』 (Venus, 1900-1908), literary & visual arts magazine that inaugurated modernization of the Japanese woodblock print and launched the later *sōsaku hanga* movement



Yamamoto KANAE 山本鼎
Fisherman 漁夫 (*Gyofu*), July 1904

Yamamoto KANAE 山本鼎
(1882-1946)





Yamamoto KANAE 山本鼎
Fisherman 漁夫 (*Gyofu*), July 1904



石井柏亭 Ishii HAKUTEI (1882-1958)

隔てゝ想ひやうゆれ
思ひしるすとわしらず筆は
熱血、狂想の火一炎がふ

バーツト日記

114

刀は乃ち筆なり(*Katana wa sunawachi fude nari*)。The knife is the brush.

Ishii Hakutei on Yamamoto Kanae's Fisherman print

傘のうち

延河原無鷗

市の自然の雄済美に歸し、ローマ派のベナ・デノ・スルーベー
雄大の氣の溌漫を見る。又其都市の自然の雄済美に由れ
りと云し、各國各派の書の特色は皆其書家の性情、才學、
趣味に同化してこそ發揮せらる可れと曰ひ、能くは
繪畫を見るに、自然の努力に從はて、日本の特色を有する常刀
を應用し、位置に於て亦強いて洋風に因せんとす向ふ
とて、之れを察せられ、氏自らは最日本的なる者在住し
て大に日本繪畫の繪畫を作出す可り計画を立てられたり
然り我國の洋書は恐らくは氏の言の如く、未だ本の

色を揮揮し得ざるものなる可し。然れども其が莫大なる事より推して、氏が日本的と云ふと、日本固有とする性質の如きを發揮する吾等に向つて、あまた強く勧説す可き事にあらざる。殊更に日本的ならんとせずとも、日本人が書きし何事に日本固有の性質は刷出せらる可き筈なり。要は只自個の胸を開ひて、自然と忠實に寫さんのか。

十二日、太平洋函會屢覽會は六日を以て終結し、該會の眞摯に小さなる家を借りて、國會は假研究處なるもの設置し其間打寄りて研究し得る様になせり。

十六日、友人山本勝君木口形刻と繪画の需要とし、其の専門家的本版を作る。刀は乃ち筆なり。本體に押しひる所れり。

は乃ち筆なり

花の種を撒く大庭。とてて

六月二日付東京美術學會書函は畫筆が上方に開陳せる所
成風習會を開く。これは其名の示せる如く收
めんとするものにして、従つて先づ堅苦な
ら以本を基にした筆洗甚が成風は之れに依
る體はず。枯木竹鶴氏の如き既に種々考
れ、和田三義氏が論議なる筆は、其後更に上國に移
を許せる不思議なる自體と、是說に貢白されど究底な
き用意と不協して、前解せらるゝに過ぎぬ。且田氏の
筆洗考するに由なく、奇才無存氏微かに論
るのみ。兎見虎太郎氏が静物寫生は極く賞賛し
山本數之助氏が画易は極きの「初の筆」は上
空天心の方よりも地平線に至る色彩の問題且
ヨリ云雲解り又接ぎやうの觀ある。註野宗之
書相手する筆洗が附屬題に當める。

*sunawachi fude
brush.*

ae's Fisherman print の貴様、レッドラーの育休、吉田太利のラリック、以上は寫真
キ、ラ・ア・ニ・タ・ラ・ラの習作下駄、ラモナの風景、ラスティの景色、原田直次郎の習作人物、其後は田代井伊良氏の
氏の習作等ある。書画店の店を場内にじつらへて生徒を貰う方
を勧めらるまし。

日、奥野辰馬の草薙(山草)を飾らる。掛軸は新兵所作。
夕暮れの女を、何れも面白けれど、我所居られるが如し。
と曰キヨミなどにて描きしものを日本本版にて印刷する
一端を手す御恩澤ある所に於て此御墨に達したし。

年月、午後一時御見舞者別子木山田村合谷村の新兵所の新経験等を以て宣
上野公園の小舟に便り、有する者二十。女子洋装十日以内夏
の浴衣を着用、白鳥を身附け、田代井伊良兵、同僚の柏原、同僚の柏原、
等なる田子木兵モラムチヒガタカツの天井画トテ、
其甚だ長矢番事との眞似よふる。則モラムチヒ
それは、御恩記によて世界の新奇を詔かだるも。又ラ
シのそれにはキ・ビラムとマイキヒの古き物語を強求する
もの、氏は之れは就きて解説の勞を與はれるが、又日本本
の洋書等に於ける所達を尋ぐんとて、昔セイ上野御殿に於

の見ては詩とせむほどのふん方になどが此子が
胸しらぬ人
光なきわれを懸としちからとし恐ひそかに寄りく
る夜かる
木の花の姫がすさびか葉りよう夢の御釋よ胸に持
かれて
病みぬれば跡しつめたきともいかな相にあらくる
髪のいくすぢ(妹に代りて)
田中星夢
夢ふくは海原すさし野をすきし百合ばなすきし豆
の思かも
月きよき樹のゆふべにあこがれて名しらぬ人にも
のは間ひしか
あめに地によう子よう姫みちると腕ひきよめて
あやめ蒼く日よ
なうけとは君がたまへる白百合に紅させよとの神
の御意かも
かがやかにあん座は春の星を彫り百合にあやめに
宮葵きたまへ
或る宵を石と石とのわびがたり「酸なし子なし愛
て葉もなし」

Digitized by srujanika@gmail.com

漁夫」について『明星』に載った「パレ

i's comment on *Fisherman* appearing in 「火人」に登場して「火主」に載った。」

its comment on Fisherman appears

明治30年代末から、大正・昭和初期の全盛時代を経て、太平洋戦争終戦前まで続いた、自画・自刻・自摺をむねとする版画運動と、その中で制作された版画全体を総称する呼び方。「新版画」とともに海外でも一般的になってきた用語。**創作版画**・**sōsaku hanga**・**creative print**
版画は当初「原画」と呼ばれていた。日本藝術版画協会（日本版画協会の前身）は、1927年に「創作版画」は、「複製を目的とせざるものにして、自刻自摺をもって、一種の絵画を創作する事を原則とする」と定義している。
<http://www.hanganet.jp/yougo/glossary/sousakuhanga.html>

創作版画

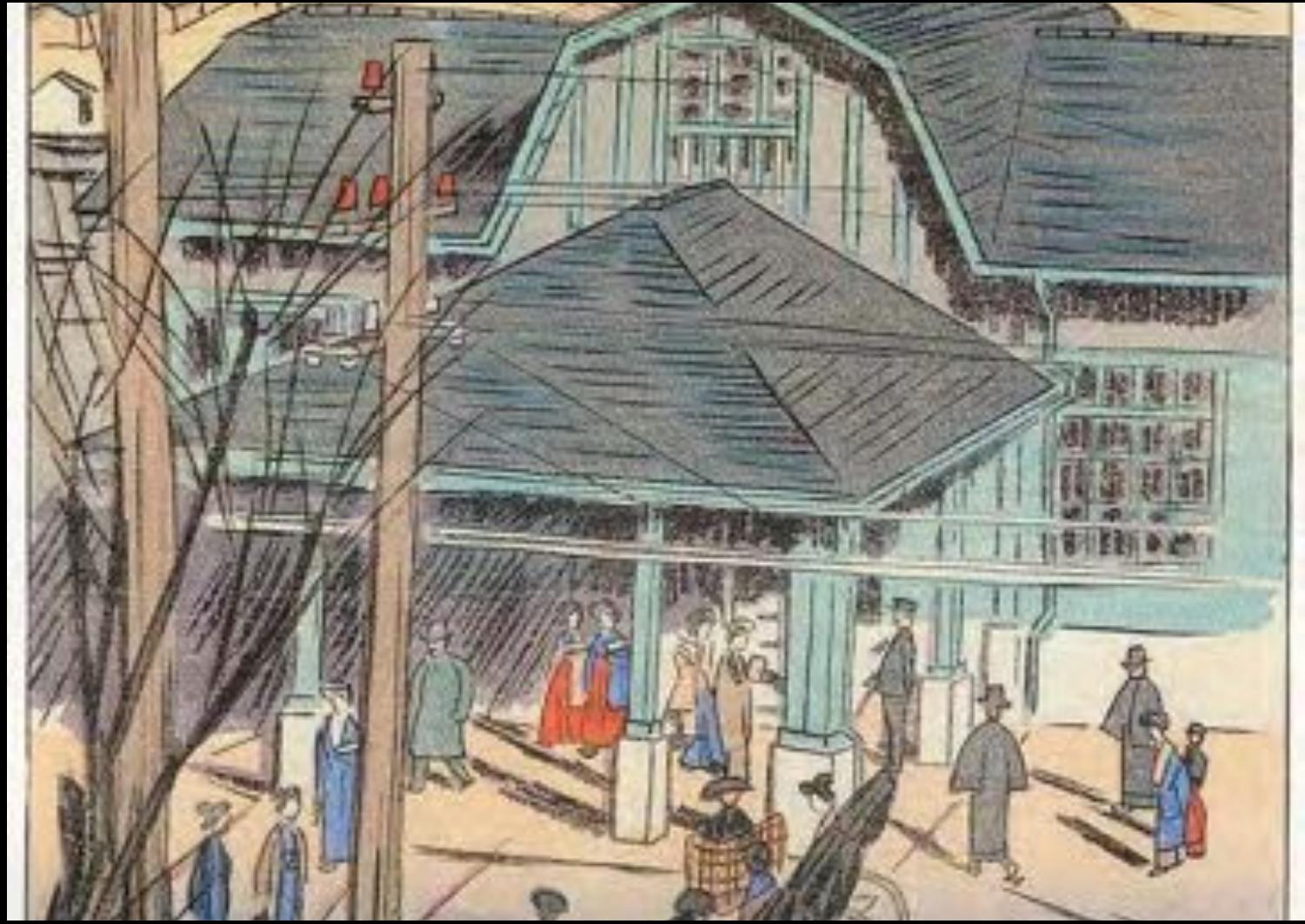
自画 · 自刻 · 自刷

Well-known modern novelist Shimazaki Tōson 島崎藤村 (1872-1843) wrote that Kanae's print was self-designed, self-carved and self-printed and this phrase—*jiga jikoku jizuri* 自画自刻自刷—became a mantra for sōsaku hanga.

Yamamoto KANAE 山本鼎

Bathing 水浴 (*Suiyoku*), 1918





Ishii Tsuruzō 石井鶴三

Parts of Tokyo Suburbs: Omori 東京近
郊之部 大森, 1919



16 山本鼎 ブルトンヌ 1920

Yamamoto KANAE 山本鼎
Woman of Brittany ブルトンヌ
(*Buruton 'nu*), 1920



Hasegawa Kiyoshi 長谷川潔
The Woman and the Dragon 女と籠 (別刷),
1921



Munakata Shikō 棟方志功

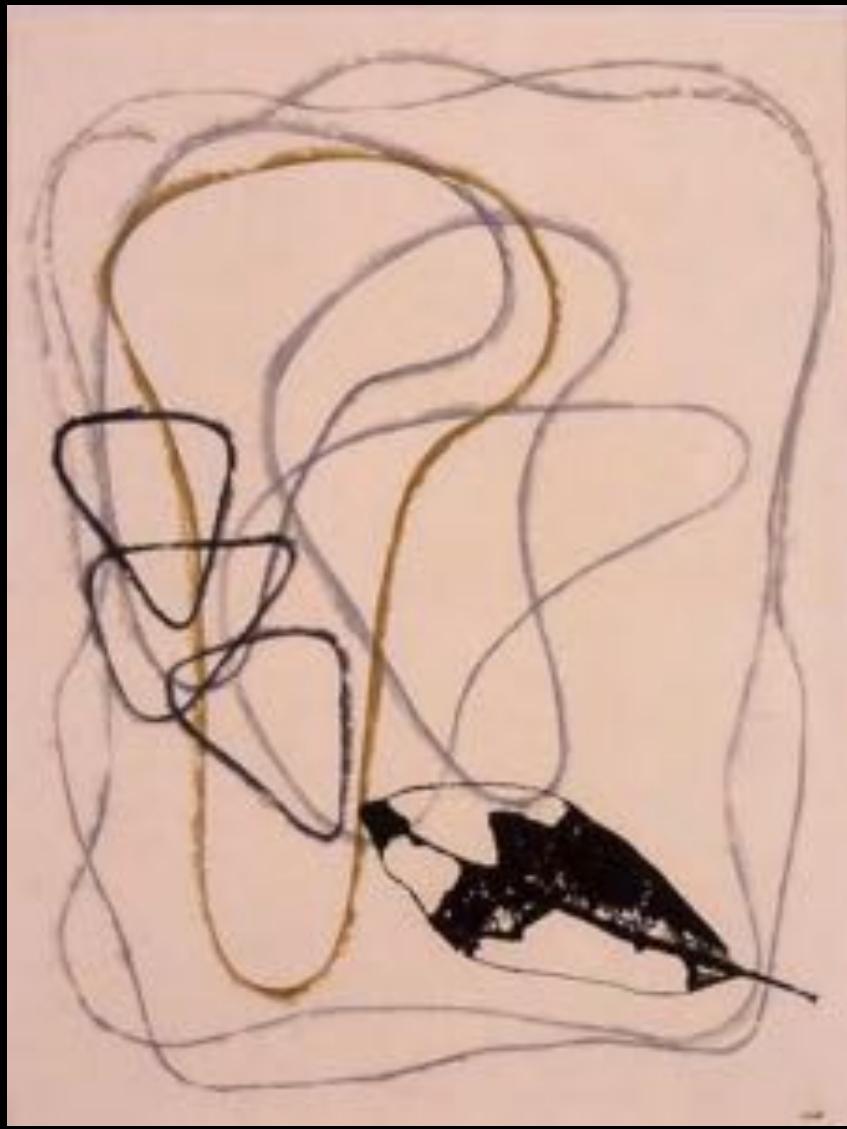
Selections from series of *Two Bodhisattva and Ten Great Disciples of Buddha*, woodcuts, 1939-1948



ONCHI Kōshirō 恩地孝四郎

L Poéme, No.15, 過去, 1950

R Poéme No. 22, Leaf and clouds 葉っぱと雲, 1953



大正初期より、新時代の浮世絵を復興させようとする版元・渡辺庄三郎によって提唱されたもの。1915(大正4)年に橋口五葉の「浴場の女」が発表され、以後美人版画の伊東深水、役者絵版画の山村耕花、名取春仙、風景版画の川瀬巴水をはじめとする数多くの作品が制作された。この間に明治末から大正期にかけて盛んになされた創作版画運動が、自刻・自摺に固執するあまり、技術的完成度を軽視する傾向があったことに対し、浮世絵の彫師・摺師による専門的分業制作を積極的に生かし、それを画家(絵師)との協同制作として新たな創造的版画を生み出そうとした。新版画運動は大正期をピークに、昭和初期からは次第に衰退していった。

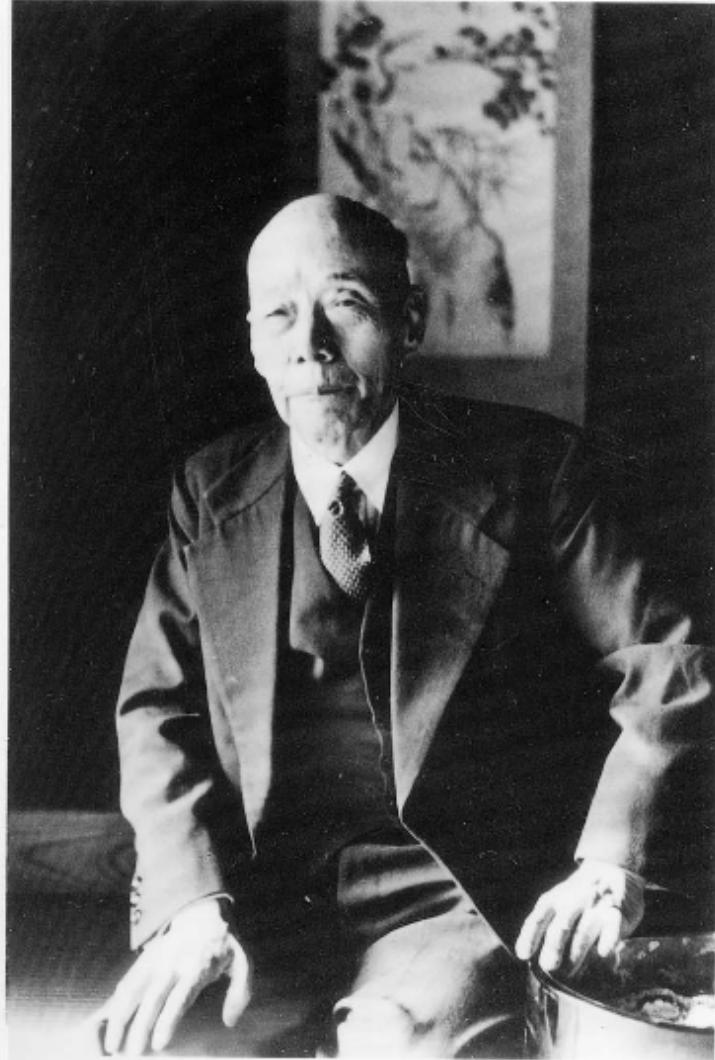
<http://www.hanganet.jp/yougo/glossary/shinhanga.html>

Watanabe Shōzaburō 渡辺庄三郎
1885-1962

Watanabe Shōzaburō

Fig. 12. Watanabe Shōzaburō (1885-1962). February 1959. Courtesy of Watanabe Toshio.

Founder of shin-hanga and primary Tokyo publisher





Hashiguchi GOYO 橋口五葉

R A Woman at Her Toilette 化粧の女 (*Keshô no onna*), 1918.

L Woman Combing Her Hair 髮すき (*Kami suki* 髮梳る女), 1920





Itō SHINSUI 以東深水

"Gifu lantern" from series *Contemporary Beauties* 現代美人集 岐阜提灯 (*Gendai bijin-shū*) , 1930

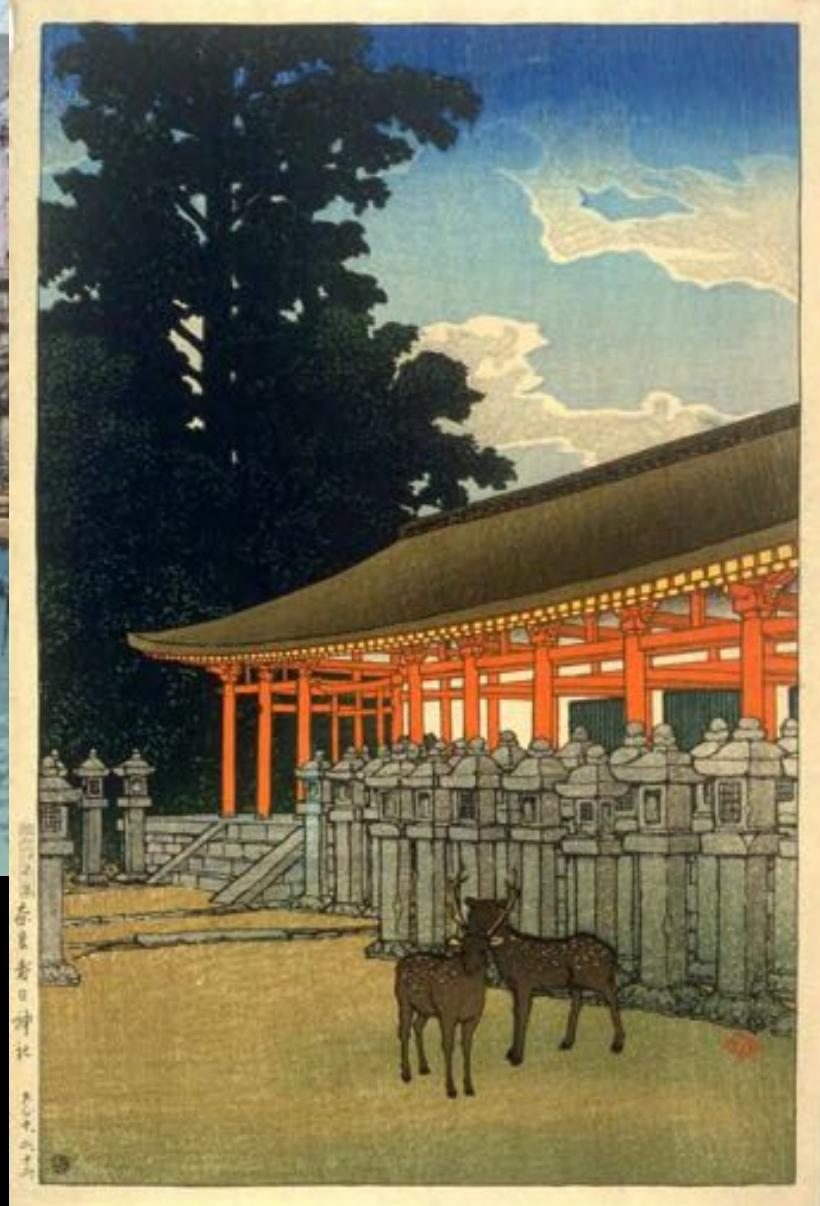




Kawase HASUI 川瀬 巴水

L Shinagawa from series *Tōkaidō fûkei senshû* 東海道風景選集,
1931, portion

R Kasuga Shrine, Nara, from series *Tabi miyage daini shû*
旅土産第二集, 1921



大正初期より、新時代の浮世絵を復興させようとする版元・渡辺庄三郎によって提唱されたもの。1915(大正4)年に橋口五葉の「浴場の女」が発表され、以後美人版画の伊東深水、役者絵版画の山村耕花、名取春仙、風景版画の川瀬巴水をはじめとする数多くの作品が制作された。これは明治末から大正期かけて盛んになった「創作版画」運動が、自刻・自摺に固執するあまり、技術的完成度を軽視する傾向があったことに対し、浮世絵の彫師・摺師による専門的集制作を積極的に主張し、それを画家(絵師)との協同制作として新たな創作的版画を生み出そうとした。新版画運動は大正期をピークに、昭和初期からは次第に衰退していった。

<http://www.hanganet.jp/yougo/glossary/shinhanga.html>

木の板に図像を彫刻して製版したものを版として用いる版画技法の総称。通常は、板目を凸版として利用する板目木版を指し、木口を版材として用いる木口木版とは区別される。版画技法としてはもっとも歴史が古く、年代がはっきり特定できる最古の例としては、中国、敦煌で発見された868年頃の作とされる仏教画が残っている。また、版画ではないが、現存する世界最古の印刷物、東大寺正倉院蔵の《百万塔陀羅尼》（8世紀中期）も木版で刷られたものである。ヨーロッパで木版が利用されようになったのは14世紀頃のこと。^{ヨーロッパでは14世紀頃から木版が利用され始めた}最初は本邦の童謡や江戸の浮世絵などに用いられた。ヨーロッパにおいて、美術作品として正確な年代が判明している最古の木版画は、ドイツ、バイエルン州で制作された1423年のものがある。このように人類が最初に手にした版画・印刷技法が木版だったわけだが、その後、金属版を使用するインタリオ（凹版）技法やリトグラフなどの技法が普及した近代以降もこの技法を好む画家たちは多い。たとえば、E・ムンクやP・ゴーギャンは非常に多くの木版画を制作したし、ドイツ表現主義の作家たちによる木版画も有名である。また、18世紀の日本の浮世絵木版画が19世紀末のフランス美術に多大な影響を与えたことは周知の通りである。

[執筆者：木戸英行] http://artscape.jp/dictionary/modern/1198671_1637.html





Takezasado 竹籠堂, turning the workshop craft into a contemporary Kyoto design shop



Tuula Moilanen, *Mokuhanga*, art book, cover and sheet 1, 2003



Akira Kurosaki (1937-) 黒崎彰
In his studio outside of Kyoto



Tetsuya Noda 野田哲也 (1940 -)

木の板に図像を彫刻して製版したものを版として用いる版画技法の総称。通常は、板目を凸版として利用する板目木版を指し、木口を版材として用いる木口木版とは区別される。版画技法としてはもっとも歴史が古く、年代がはっきり特定できる最古の例としては、中国、敦煌で発見された868年頃の作とされる仏教画が残っている。また、版画ではないが、現存する世界最古の印刷物、東大寺正倉院蔵の《百万塔陀羅尼》（8世紀中期）も木版で刷られたものである。ヨーロッパで木版が利用されようになったのは14世紀頃のこと。^{ヨーロッパでは14世紀頃から木版が利用され始めた}最初は林地の蘿蔓や山用いられた。ヨーロッパにおいて、美術作品として正確な年代が判明している最古の木版画は、ドイツ、バイエルン州で制作された1423年のものがある。このように人類が最初に手にした版画・印刷技法が木版だったわけだが、その後、金属版を使用するインタリオ（凹版）技法やリトグラフなどの技法が普及した近代以降もこの技法を好む画家たちは多い。たとえば、E・ムンクやP・ゴーギャンは非常に多くの木版画を制作したし、ドイツ表現主義の作家たちによる木版画も有名である。また、18世紀の日本の浮世絵木版画が19世紀末のフランス美術に多大な影響を与えたことは周知の通りである。[執筆者：木戸英行] http://artscape.jp/dictionary/modern/1198671_1637.html



Current team of printers at Sato Mokuhanga Studio, Kyoto



Akira Kurosaki 黒崎彰

L *Holy Night 57* 浄夜54, woodcut on Echizen torinoko paper, 1968

R *Red Darkness 7* 赤い闇7, woodcut on Echizen torinoko paper, 1970



Akira Kurosaki 黒崎輝

Eight Views of Omi: Descending Geese at Katata, woodcut, 85x50cm, 2010



Tetsuya Noda 野田哲也
From his *Diary* series 「日記」 シリーズ, (1968-), woodcut and silkscreen



Keiko Kadota 門田けい子

IMC Founder & Director of MI-LAB & Nagasawa mokuhanga programs for Mokuhanga

木版画・もくはんが • Mokuhanga

International Mokuhanga Conference 2014

第2回国際木版画会議



CONTEMPORARY MOKUHANGA IMC2014 TOKYO

September 10 - 14, 2014



Second International Mokuhanga Conference 第二回国際木版画会議, 2014, Tokyo

木版画 →→ Mokuhanga →→→



April Vollmer beside her mokuhanga, *Blackout*, 2013, 81.3 x 66cm, 2013

JAPANESE WOODBLOCK



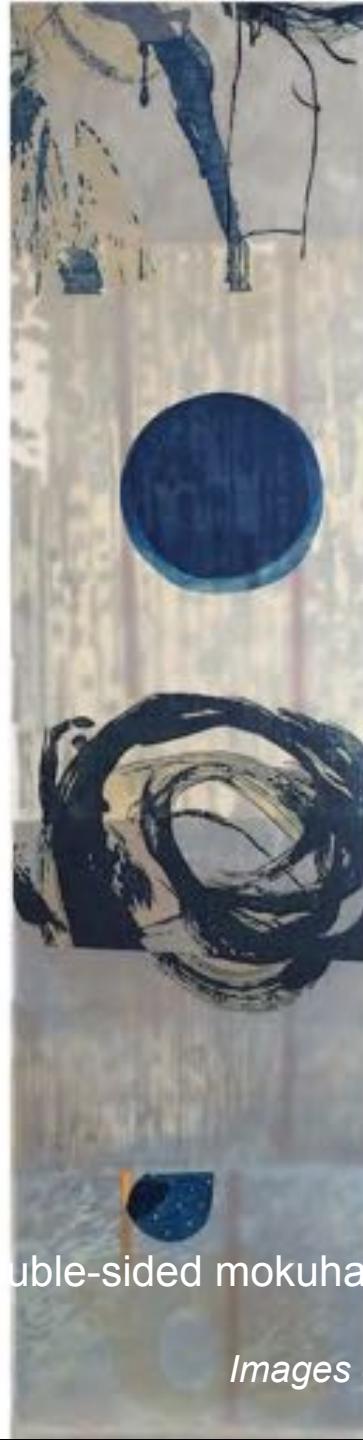
PRINT WORKSHOP

THE PURPOSE *of* THIS BOOK

nstance,
cm)

This book was conceived as an introduction to the basics of mokuhanga for creative artists outside Japan. While it includes some information about professional practice in Japan, it is written with the belief that this flexible technique can be adapted for use by individual artist-printmakers. With experience, artists can develop an approach to woodblock printing that reflects their particular situation, technical ability, and available resources.

In addition to the step-by-step chapter that outlines how a print is made, the book includes a chapter on tools and materials, and a chapter on maki-han-dou - the



Keiko Hara, *Verse | Ma & Ki-Memory* 7-2, 2ft x 7ft, 2 double-sided moku hanga hung back to back, on exhibition 10.2017

Images courtesy of the artist



Ralph Kiggell, from *Organisms*, mokuhanga folded around wood tablets, 2011



Images courtesy of the artist



L: Yoonmi Nam, "From Mendenhall Glacier", Mokuhanga, 10.5"x13", 2016

R: Yoonmi Nam, "nice+cool here", Mokuhanga, 10.5"x13", 2016

Images courtesy of the artist

Genealogies & Etiologies: ‘Mokuhanga’ in Context

Claire Cuccio
Independent Scholar
Washington, DC
(Kathmandu as of 2017.06)
cscuccio@alumni.stanford.edu



Myōjō 『明星』, final issue, back cover, 1908

